

超值全彩
白金版
29.80

中国家庭必备工具书

手绘典藏彩图本 《本草纲目》

家中有本草 健康无烦恼

传世经典 古方今用 防病健身

《本草纲目》是中华医药史上的巨典，集千年来国人对药物、食物的种植、收采、调制和医养方法之大成。

(明) 李时珍 著
宋敬东 主编

天津出版传媒集团

天津科学技术出版社

正本清源 传世经典 古为今用 养生养心

手绘典藏彩图本

《本草纲目》

(明)李时珍 著
宋敬东 主编



天津出版传媒集团

天津科学技术出版社

本草纲目 白话本

图书在版编目(CIP)数据

手绘典藏彩图本《本草纲目》/(明)李时珍著;宋敬东主编. —天津:天津科学技术出版社,2013.7
ISBN 978-7-5308-8139-2

I ①手… II ①李… ②宋… III ①本草纲目 IV ①R281.3

中国版本图书馆CIP数据核字(2013)第169336号

责任编辑:郑东红

责任印制:兰 毅

天津出版传媒集团

 天津科学技术出版社

出版

出版人:蔡 颢

天津市西康路35号 邮编 300051

电话(022)23332490

网址:www.tjkjcs.com.cn

新华书店经销

北京楠萍印刷有限公司印刷

开本720×1 020 1/16 印张27.5 字数810 000

2013年9月第1版第1次印刷

定价:29.80元



传承中华民族的中医文化瑰宝
再现中草药学研究的辉煌成就





前言

《本草纲目》是中国古代本草学集大成者，也是中国最具世界性影响的药学及博物学巨典。它集中国古代医学所取得的最高成就为一体，同时广泛涉及相关的生物、化学、天文、地理、地质、采矿等领域，成为中国古代科技史上规模最大、内容最丰富的巨著，曾被英国生物学家达尔文誉为“中国的百科全书”。2011年5月，《本草纲目》入选“世界记忆”名录。

这部皇皇巨著的作者李时珍是明朝伟大的医药学家，出身医生世家，祖父和父亲都是当地名医。李时珍天资聪颖，自幼熟读儒家经典，14岁时考中秀才。后来受父亲影响，便逐渐放弃科举考试，一心随父学医。李时珍白天跟父亲行医治病，晚上，在油灯下熟读《内经》《本草经》《伤寒杂病论》《脉经》等古典医学著作。

多年的临床实践使李时珍懂得，做一名医生，不仅要懂医理也要懂药理。如果把药物的形态和性能搞错了，就会闹出人命。他在阅读《神农本草经》的基础上，再仔细地阅读了南朝齐梁时期陶弘景著的《本草经集注》、唐代的《新修本草》、宋代的《开宝本草》《经史证类备急本草》《本草衍义》等。在阅读中发现了前人本草著作中的诸多错误，于是立志重新编撰一部本草著作。为写成这部书，他穷毕生精力亲历实践，广收博采，历时30年，几易其稿，终于完成《本草纲目》。

《本草纲目》成书后四百多年来成为医家、读书人必修之圣典，成为普通百姓活命养生的医药宝库。现代著名史学家、文学家郭沫若高度评价了李时珍在医学史上的丰功伟绩：“医中之圣，集中国药学之大成，《本草纲目》乃1892种药物说明，广罗博采，曾费三十年之殚精。造福生民，使多少人延年活命！伟哉夫子，将随民族生命永生。”

《本草纲目》共有52卷，载有药物1892种，其中载有新药374种，收集药方11 096个，书中还绘制了1160幅精美的插图，约190万字，分为16部、60类。书中对药物的分类改变了此前本草学著作中上、中、下三品分类法，采取了“析族区类，振纲分目”的科学分类。它把药物分矿物药、植物药、动物药。又将矿物药分为金部、玉部、石部、卤部四部。植物药一类，根据植物的性能、形态及其生长的环境，区别为草部、谷部、菜部、果部、木部五部；草部又分为山草、芳草、毒草、水草、蔓草、石草等小类。动物一类，按低级向高级进化的顺序排列为虫部、鳞部、介部、禽部、兽部、人部六部。这种分类法，已经过

渡到按自然演化的系统来进行。从无机到有机，从简单到复杂，从低级到高级，这种分类法明显含有生物进化的思想，受到达尔文的高度重视。每种药物分列释名（确定名称）、集解（叙述产地）、正误（更正过去文献的错误）、修治（炮制方法）、气味、主治、发明（前三项指分析药物的功能）、附方（收集民间流传的药方）等项。

《本草纲目》广泛涉及医学、药理学、生物学、矿物学、化学、环境与生物、遗传与变异等诸多科学领域。它在化学史上，较早地记载了纯金属、金属、金属氯化物、硫化物等一系列的化学反应。同时又记载了蒸馏、结晶、升华、沉淀、干燥等现代化学中应用的一些操作方法。《本草纲目》不仅是我国一部药理学巨著，也不愧是我国古代的百科全书。正如李建元《进本草纲目疏》中指出：“上自坟典、下至传奇，凡有相关，靡不收录，虽命医书，实该物理。”

本书以最权威的金陵古本为蓝本，本着取古人之要义、为现代人所实用的原则，删繁就简，精选精校，辑录精华，保留了至今常见常用的本草，及切实有效的复方，原汁原味再现天下第一药典之精华，指导今人认识本草。本书仿金陵版古图风格，精心绘制了五百余幅彩图，生动、逼真地再现了四百多种药材的植物形态，读者可按图索骥，准确辨识药材，具有很强的实用性。同时，还用图片的形式清晰明了地诠释了原著中的一些中医用药理论，帮助毫无中医基础的读者轻松读懂《本草纲目》。本书不仅是家庭常备药典，更是传统中医药研究爱好者的典藏之选。





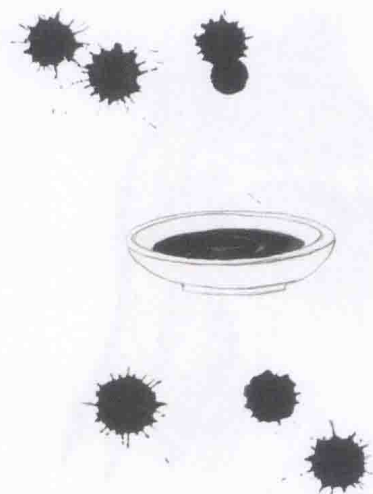
目录



《序例	1	诸汗.....	37
七方.....	2	惊悸.....	38
十剂.....	4	不眠.....	38
五味宜忌.....	8	消渴.....	39
五味偏胜.....	9	瘀血.....	40
标本阴阳.....	9	心腹痛.....	41
升降浮沉.....	10	腰痛.....	42
四时用药例.....	11	痛风.....	43
五脏五味补泻.....	11	眩晕.....	44
六腑五脏用药气味补泻.....	12	头痛.....	45
相反诸药.....	12	面.....	47
脏腑虚实标本用药式.....	13	眼目.....	48
《百病主治药	17	耳.....	49
诸风.....	18	鼻.....	50
伤寒热病.....	20	口舌.....	51
湿.....	22	咽喉.....	51
火热.....	23		
诸气.....	25		
脾胃.....	26		
呕吐.....	28		
泄泻.....	29		
痢.....	30		
脚气.....	31		
胀满.....	32		
齿出血.....	33		
咳嗽.....	34		
虚损.....	35		
健忘.....	36		



牙齿.....	52
须发.....	53
跌仆折伤.....	54
胎前.....	55
产后.....	56
》水部	57
雨水.....	58
夏冰.....	58
甘露.....	59
热汤.....	59
盐胆水.....	60
腊雪.....	60
》火部	61
艾火.....	62
火针.....	62
炭火.....	63
桑柴火.....	63
芦火、竹火.....	64
灯火.....	64
》土部	65
蚯蚓泥.....	66
白瓷器.....	66
古砖.....	67
石碱.....	67
墨.....	68
锻灶灰.....	68



》金石部	69
青琅玕.....	70
珊瑚.....	70
丹砂.....	71
雄黄.....	72
雌黄.....	73
石胆.....	74
石膏.....	75
食盐.....	76
朴硝.....	77
蓬砂.....	78
麦饭石.....	79
石硫黄.....	79
矾石.....	81
方解石.....	82
石钟乳.....	83
石灰.....	84
磁石.....	85
凝水石.....	86
五色石脂.....	87
玄精石.....	88
石炭.....	89
砒石.....	90
石脑油.....	90
》草部	91
甘草.....	92
黄耆.....	93
人参.....	94
沙参.....	95
茅苈.....	96
桔梗.....	97
长松.....	98
黄精.....	98
萎蕤.....	99
知母.....	100
赤箭、天麻.....	101
巴戟天.....	102
术.....	103

狗脊.....	104	白薇.....	134
马勃.....	105	芎藭.....	134
远志.....	105	芍药.....	135
肉苁蓉.....	106	徐长卿.....	136
淫羊藿.....	107	萆薢.....	136
仙茅.....	107	藁本.....	137
玄参.....	108	白芷.....	138
地榆.....	109	蛇床.....	139
丹参.....	110	牡丹.....	139
紫草.....	111	荆三棱.....	140
白头翁.....	112	木贼.....	141
白及.....	112	高良姜.....	142
黄连.....	113	大蓟、小蓟.....	143
三七.....	114	益智子.....	144
胡黄连.....	115	豆蔻.....	144
黄芩.....	115	补骨脂.....	145
秦艽.....	116	姜黄.....	146
柴胡.....	117	郁金.....	146
前胡.....	117	藿香.....	147
防风.....	118	莎草、香附子.....	148
白鲜皮.....	119	兰草.....	149
独活.....	120	薰草、零陵香.....	150
石蒜.....	121	薄荷.....	150
升麻.....	121	苦芥.....	151
苦参.....	122	香薷.....	152
延胡索.....	123	泽兰.....	152
贝母.....	124		
山慈姑.....	125		
龙胆.....	125		
白茅.....	126		
细辛.....	127		
芒.....	128		
水仙.....	129		
杜衡.....	129		
缩砂密.....	130		
当归.....	131		
木香.....	132		
白前.....	133		



假苏.....	153
菊.....	154
艾.....	154
茵陈蒿.....	155
青蒿.....	156
夏枯草.....	157
茺蔚.....	157
红蓝花.....	158
恶实.....	159
刘寄奴草.....	160
旋覆花.....	161
鸡冠.....	162
续断.....	162
苧麻.....	163
天名精.....	164
芦根.....	165
灯芯草.....	166
麻黄.....	167
地黄.....	168
紫菀.....	170
麦门冬.....	171
龙葵.....	172
萱草.....	173
败酱.....	174
迎春花.....	174
款冬花.....	175



地肤.....	175
决明.....	176
瞿麦.....	177
车前.....	177
连翘.....	178
虎杖.....	179
蒺藜.....	180
谷精草.....	181
大黄.....	182
大戟.....	183
甘遂.....	184
蓖麻.....	185
常山、蜀漆.....	186
附子.....	187
半夏.....	188
曼陀罗花.....	189
羊躑躅.....	190
海芋.....	191
芫花.....	191
菟丝子.....	192
五味子.....	193
覆盆子.....	194
牵牛子.....	195
营实、墙藓.....	196
栝楼.....	197
葛.....	198
天门冬.....	199
百部.....	200
女菱.....	201
何首乌.....	201
白敛.....	202
白英.....	203
防己.....	204
月季花.....	204
羊桃.....	205
木莲.....	205
泽泻.....	206
羊蹄.....	207

忍冬.....	208	雀麦.....	239
龙舌草.....	208	稻.....	240
蕤.....	209	小麦.....	241
蕨.....	209	薏苡仁.....	241
菖蒲.....	210	罌子粟.....	242
海带.....	210	赤小豆.....	243
石斛.....	211	醋.....	245
骨碎补.....	211	玉蜀黍.....	245
石胡荽.....	212	粳.....	246
牛膝.....	213	酒.....	246
青黛.....	214	蚕豆.....	247
石蕊.....	215	荞麦.....	248
贯众.....	215	绿豆.....	249
肉豆蔻.....	216	豌豆.....	251
苏.....	217	豆腐.....	252
蓬莪术.....	218	大豆.....	252
水苏.....	219	蒸饼.....	254
积雪草.....	220	》 菜 部	255
漏卢.....	221	芥.....	256
马兰.....	222	芜菁.....	257
青葙.....	223	莱菔.....	258
葫芦巴.....	223	韭.....	259
蠡实.....	224	生姜.....	260
酸浆.....	225	葱.....	260
王不留行.....	226	藜蘆.....	262
簕.....	227	苋.....	263
甘蕉.....	228		
鳢肠.....	229		
蛇含.....	230		
蓝.....	231		
葵.....	232		
海金沙.....	234		
紫花地丁.....	235		
云实.....	235		
茺菹.....	236		
》 谷 部	237		
胡麻.....	238		
大麻.....	238		



胡萝卜.....	264
蒲公英.....	264
莴苣.....	265
蕨.....	266
薯蓣.....	266
苤蓿.....	267
百合.....	268
冬瓜.....	268
苜蓿.....	269
壶卢.....	270
茄.....	270
竹笋.....	272
翹摇.....	273
胡瓜.....	273
芋.....	274
藪.....	275
薤.....	276
芸薹.....	277
丝瓜.....	278
木耳.....	279
葫.....	281
草石蚕.....	282
》果部	283
杏.....	284
梅.....	285



桃.....	285
梨.....	286
山楂.....	287
橘.....	288
柚.....	288
枣.....	289
栗.....	291
杨梅.....	291
柿.....	292
银杏.....	294
榛.....	295
荔枝.....	295
龙眼.....	296
安石榴.....	297
槟榔.....	298
椰子.....	299
橄榄.....	300
胡椒.....	301
无花果.....	301
吴茱萸.....	302
葡萄.....	304
猕猴桃.....	305
芡实.....	305
芡实.....	306
莲藕.....	307
樱桃.....	308
枇杷.....	309
胡桃.....	310
秦椒.....	311
柰.....	312
茗.....	312
西瓜.....	314
木瓜.....	315
》木部	317
柏.....	318
松.....	319
桂.....	320
丁香.....	321

安息香.....	322
辛夷.....	322
龙脑香.....	323
杜仲.....	324
苏合香.....	324
椿樗.....	325
桐.....	326
樟脑.....	327
皂荚.....	327
柳.....	328
黄杨木.....	330
槐.....	330
白杨.....	332
郁李.....	333
合欢.....	334
巴豆.....	334
桑.....	335
卮子.....	337
金樱子.....	338
相思子.....	339
棕榈.....	339
茯苓.....	340
酸枣.....	341
枸杞、地骨皮.....	341
冬青.....	342
厚朴.....	343
女贞.....	344
楝.....	345
榆.....	346
楠.....	347
杉.....	347
枳.....	348
芦荟.....	350
木槿.....	351
沉香.....	351
五加.....	352
琥珀.....	353
牡荆.....	354

紫荆.....	355
檀香.....	356
大风子.....	357
樟.....	357
竹.....	358
雷丸.....	360
》虫部.....	361
蚕.....	362
蝎.....	363
芫青.....	364
蜗牛.....	364
蟾蜍.....	365
蚱蝉.....	366
木虻.....	367
蚯蚓.....	367
》鳞部.....	369
鲮鲤.....	370
鳊鱼.....	370
鲫鱼.....	371
白花蛇.....	371
鲈鱼.....	372
蛤蚧.....	373
鲤鱼.....	373
鳊鱼.....	374
比目鱼.....	375
鳝鱼.....	375
虾.....	376



》介部 377

魁蛤.....	378
鳖.....	378
牡蛎.....	380
蚌.....	380
珍珠.....	381
蟹.....	381
石决明.....	382
蛤蜊.....	383
海蛤.....	383
车渠.....	384
田螺.....	384
贝子.....	385
车螯.....	386

》禽部 387

鹅.....	388
雁.....	389
雉.....	389
鸡.....	390
鸽.....	393
伏翼.....	393
寒号虫.....	394

》兽部 395

豕.....	396
狗.....	400
羊.....	403
牛.....	406
马.....	409
象.....	410
阿胶.....	411
牛黄.....	412
犀.....	412
熊.....	413
鹿.....	414
麋.....	415
麝.....	416
狐.....	416
兔.....	417
鼠.....	418
猬.....	420

》人部 421

爪甲.....	422
牙齿.....	422
乳汁.....	423

序例

纲目

本草



七方

纲目

〔岐伯曰〕气有多少，形有盛衰，治有缓急，方有大小。又曰：病有远近，证有中外，治有轻重。近者奇之，远者偶之。汗不以奇，下不以偶。补上治上制以缓，补下治下制以急。近而奇偶，制小其服；远而奇偶，制大其服。大则数少，小则数多。多则九之，少则二之。奇之不去则偶之，偶之不去则反佐以取之，所谓寒热温凉，反从其病也。

〔王冰曰〕脏位有高下，腑气有远近，病证有表里，药用有轻重。单方为奇，复方为偶。心肺为近，肝肾为远，脾胃居中。肠膈胞胆，亦有远近。识见高远，权以合宜。方与其重也宁轻，与其毒也宁善，与其大也宁小。是以奇方不去，偶方主之；偶方不去，则反佐以同病之气而取之。夫微小之热，折之以寒；微小之冷，消之以热。甚大寒热，则必能与异气相格。声不同不相应，气不同不相合。是以反其佐以同其气，复令寒热参合，使其始同终异也。

〔时珍曰〕逆者正治，从者反治。反佐，即从治也。谓热在下而上有寒邪拒格，则寒药中入热药为佐，下膈之后，热气既散，寒性随发也。寒在下而上有浮火拒格，则热药中入寒药为佐，下膈之后，寒气既消，热性随发也。寒在下而上有浮火拒格，则热药中入寒

药为佐，下膈之后，寒气既消，热性随发也。此寒因热用，热因寒用之妙也。温凉仿此。

〔完素曰〕流变在乎病，主病在乎方，制方在乎人。方有七：大、小、缓、急、奇、偶、复也。制方之体，本于气味。寒、热、温、凉，四气生于天；酸、苦、辛、咸、甘、淡，六味成于地。是以有形为味，无形为气。气为阳，味为阴。辛甘发散为阳，酸苦涌泄为阴；咸味涌泄为阴，淡味渗泄为阳。或收或散，或缓或急，或燥或润，或软或坚，各随脏腑之证，而施药之品味，乃分七方之制也。故奇、偶、复者，三方也。大、小、缓、急者，四制之法也。故曰：治有缓急，方有大小。

【大方】

〔岐伯曰〕君一臣二佐九，制之大也。君一臣三佐五，制之中也。君一臣二，制之小也。又曰：远而奇偶，制大其服；近而奇偶，制小其服。大则数少，小则数多。多则九之，少则二之。

〔完素曰〕身表为远，里为近。大小者，制奇偶之法也。假如小承气汤、调胃承气汤，奇之小方也；大承



采药